

News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

平成
30
年
8
月

ようやく酷暑も峠を過ぎ、しだいに秋の気配を感じるころとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さっそく Newsletter 第6回配信です！ どうぞお楽しみください。

〈 診療科紹介 小児科 〉

自治医科大学小児科は、大学附属の子ども病院である自治医科大学とちぎ子ども医療センターで診療しています。小児疾患全分野の診療体制を持ち、高度専門医療を行っています。2015年度から AADC 欠損症患者 7 人に、日本で最初の小児神経疾患の遺伝子治療を実施し、臥床状態であった子達が、支えての座位や歩行が可能になるなどの治療効果を得ました。一方、小児科医は子どもの総合医であるとの考えから、総合診療部を持ち専門分野に分かれることなく、全員が一つの小児科として協力して診療しています。小児の外科系各科も充実し、科間の連携も良く多臓器・多分野にわたる難治性疾患の外科治療も行われています。在宅医療や発達相談など地域と連携した医療も進めています。大学併設の新しい形の子ども病院として、成人各科とも連携し成人で開発された先端医療も取り入れた診療が可能です。自治医大は、先進的研究を行っている基礎講座も多く、難治性疾患や発達障害の病態解明や治療法開発研究など多くの課題で共同研究を行い、成果を挙げています。子どもたちの成長・発達を支え、家族に寄り添い、社会的視点も持ち、最新の医療の実施や開発にも取り組みます。日本全国からやる気にあふれた若い医師が集まり、和気あいあい、かつ切磋琢磨し研修しています。スタッフ一同、各自の発展を支援しますので、子どもへの愛情と、医療・医学への情熱を持つ小児科医を目指す若者達、是非、当科での研修にいらして下さい。

～小児科主任教授 山形崇倫～



子ども医療センターは附属病院本館・新館とは地下と3階の連絡通路で接続しています。

- ◇ 4階 4A病棟：38床(小児科・主に慢性期)、特別支援学校分教室、クリエイティブ室
- ◇ 3階 3A病棟：36床(外科系)、PICU:8床、手術室
- ◇ 2階 2A病棟：38床(小児科・主に急性期)、2B病棟:15床(心の診療科)
- ◇ 1階 外来、検査部門、小児画像診断部、リハビリテーション部、ボランティア室
- ◇ 本館3階 NICU:12床、GCU:24床

乳児の吸気性喘鳴の原因とならないのはどれか。

- a. 血管輪
- b. 気管支喘息
- c. 急性喉頭炎
- d. 喉頭軟化症
- e. 声門下狭窄

- a. 中枢性気道狭窄が病態であり吸気性喘鳴を呈する
- b. 正解 末梢性気道狭窄が病態であり呼気性喘鳴を呈する
- c. 中枢性気道狭窄が病態であり吸気性喘鳴を呈する
- d. 中枢性気道狭窄が病態であり吸気性喘鳴を呈する
- e. 中枢性気道狭窄が病態であり吸気性喘鳴を呈する

中枢神経の先天奇形について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- a. 二分脊椎は葉酸摂取過剰が原因となる
- b. 神経細胞の移動が妨げられると滑脳症となる
- c. 全前脳胞症は脳の左右分離不全により生じる
- d. 二分脊椎は多診療科と多職種による総合的なケアが必要である
- e. Joubert 症候群の特徴的な MRI 所見は eye of the tiger sign である

- a. 葉酸欠乏が原因とされている。
- b.
- c.
- d.
- e. 特徴的な MRI 所見は molar tooth sign である。